

情報提供

- ① 「水防災意識社会 再構築ビジョン」について 1
- ② 新たなステージに対応した防災気象情報 6
- ③ 国土交通省ハザードマップポータルサイトの紹介 8

平成28年2月29日

① 「水防災意識社会 再構築ビジョン」について

秋田河川国道事務所
平成28年2月29日

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行う。

<ソフト対策> ・住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「住民目線のソフト対策」へ転換し、平成28年出水期までを目途に重点的に実施。

<ハード対策> ・「洪水を安全に流すためのハード対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」を導入し、平成32年度を目途に実施。

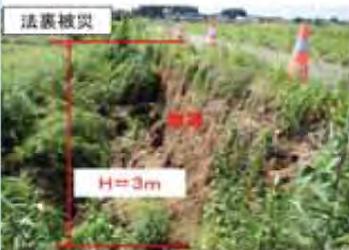
主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

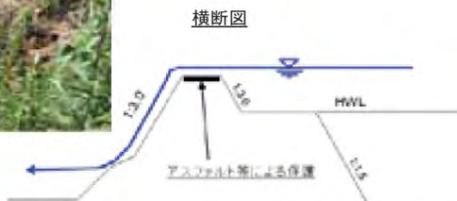
<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進
いわゆる粘り強い構造の堤防の整備

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>



天端のアスファルト等が、越水による侵食から堤体を保護(鳴瀬川水系吉田川、平成27年9月関東・東北豪雨)



<洪水を安全に流すためのハード対策>

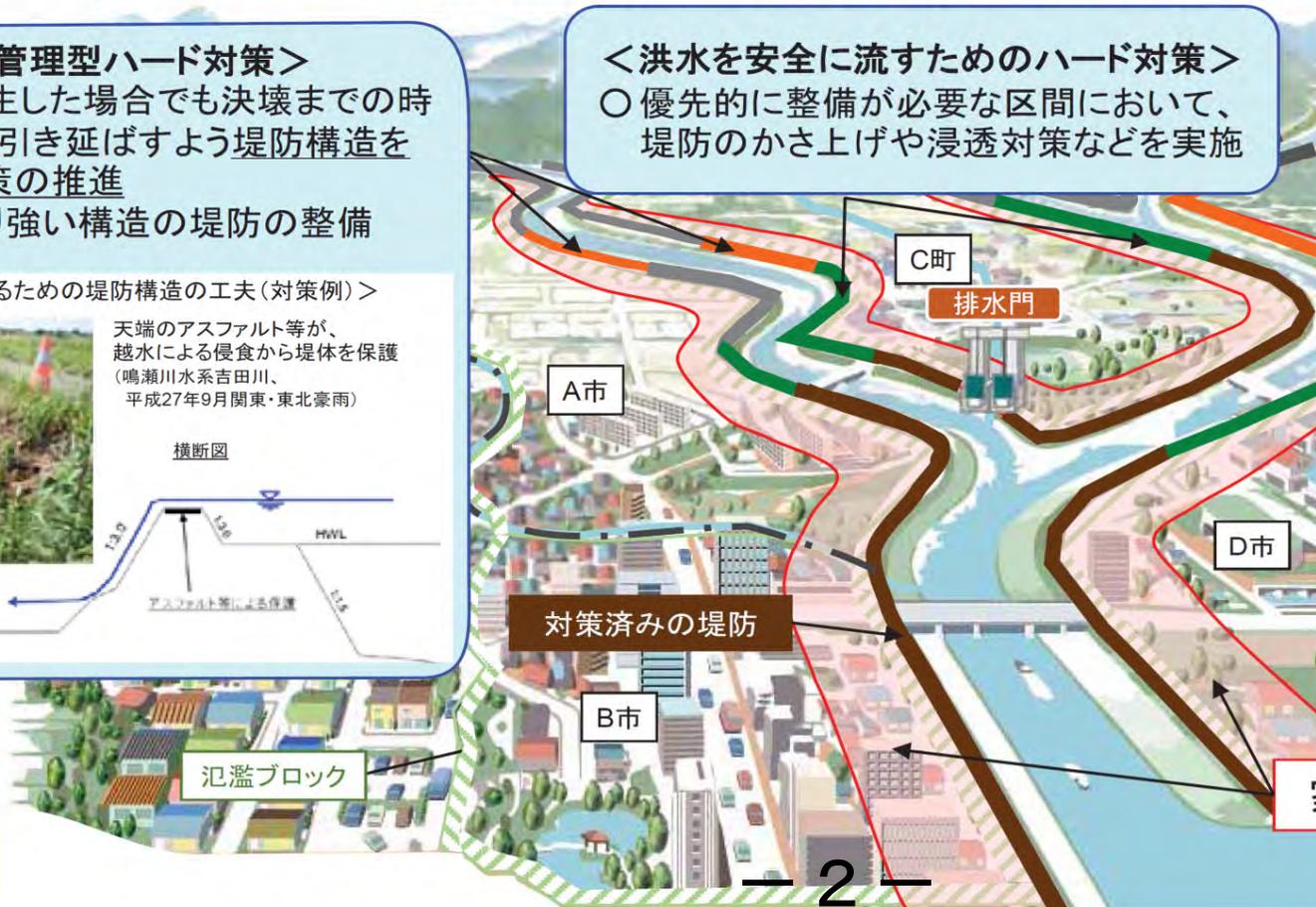
- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊危険区域等の公表
 - ・住民のとりべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催

- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定

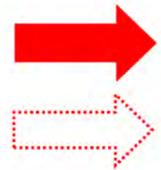
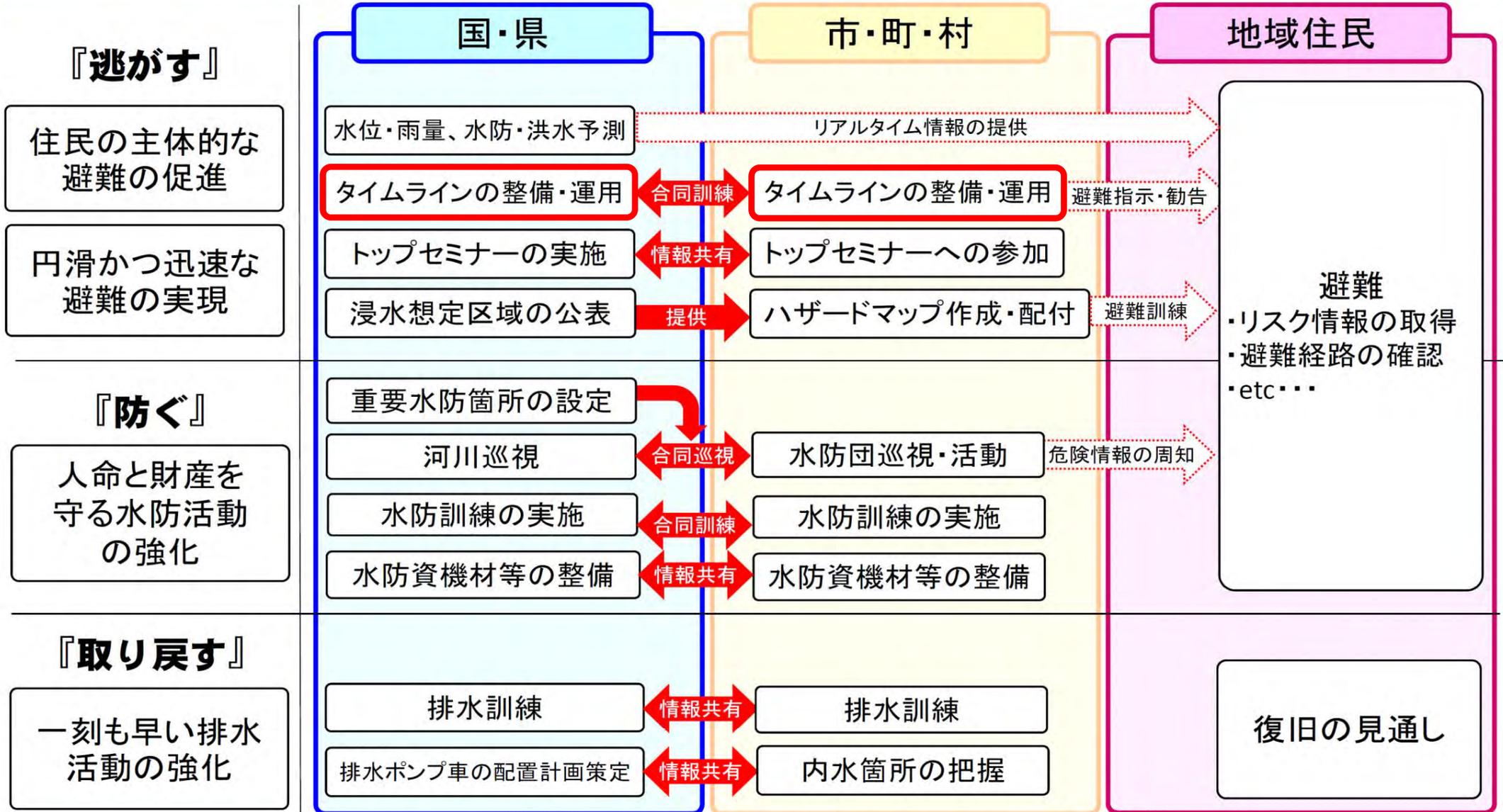
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



家屋倒壊危険区域※

※ 河川堤防の決壊に伴う洪水氾濫により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域

住民が主体的に避難できる「住民目線のソフト対策」のイメージ



の部分の情報提供方法や共有について、確認・改善

「洪水を安全に流すためのハード対策」

平成27年9月関東・東北豪雨を踏まえて設定した、堤防整備・河道掘削等の流下能力向上対策、浸透・パイピング対策、侵食・洗堀対策に関し、**優先的に対策が必要な区間約162km**について、**平成32年度を目途に、今後概ね5年間で対策を実施する。**

パイピング、法すべり

漏水対策（浸透含む）

L=約61km（堤防への浸透対策）
L=約63km（パイピング対策）

- ・過去の漏水実績箇所等、浸透により堤防が崩壊するおそれのある箇所
- ・旧河道跡等、パイピングにより堤防が崩壊するおそれのある箇所



鳴瀬川支川吉田川（宮城県）

流下能力不足

堤防整備・河道掘削

L=約124km

- ・堤防高が低い等、当面の目標に対して流下能力が不足している箇所（上下流バランスを確保しながら実施）



鬼怒川（茨城県）

水衝・洗堀

侵食・洗堀対策

L=約4km

- ・河床が深掘れしている箇所や水衝部等、河岸侵食・護岸欠損のおそれがある箇所



阿武隈川支川荒川（福島県）

優先的に対策を実施する区間L=約162km

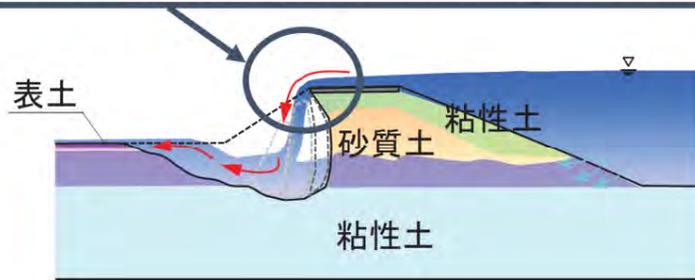
※各対策の延長は重複あり

「危機管理型ハード対策」

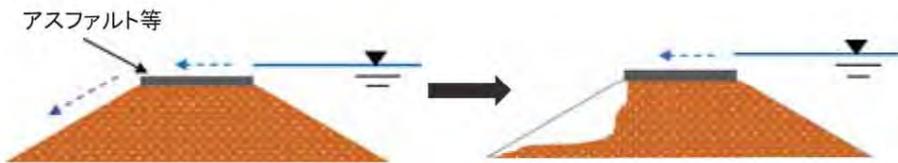
氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランス等の観点から堤防整備に至らない区間など約163kmについて、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防構造を工夫する対策を平成32年度を目途に、今後概ね5年間で実施する。

堤防天端の保護

堤防天端をアスファルト等で保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水した場合には法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



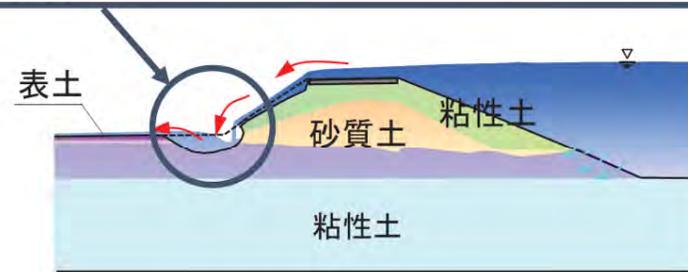
堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



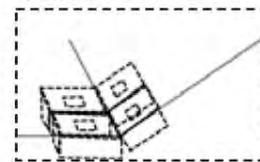
約75km

堤防裏法尻の補強

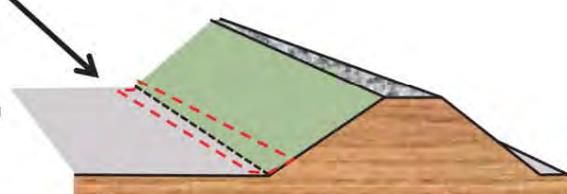
裏法尻をブロック等で補強し、越水した場合には深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防裏法尻をブロック等で補強



※ 具体的な工法については検討中



約106km

対策を実施する区間L=約163km

※各対策の延長は重複あり

② 新たなステージに対応した防災気象情報

秋田地方気象台
平成28年2月29日

新たなステージに対応した防災気象情報(概要)

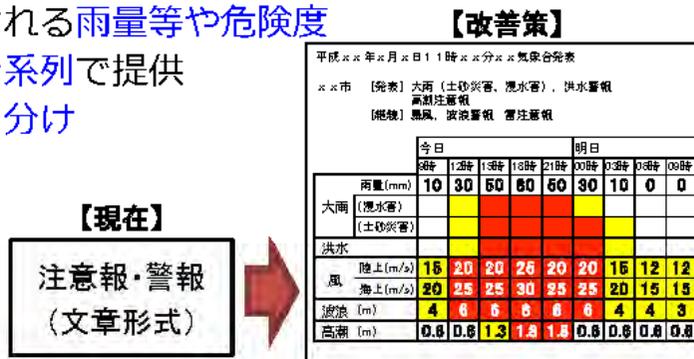
新たなステージに対応した防災気象情報

基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなるとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

① 時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け



② 翌朝までの「警報級の現象になる可能性」の提供

- 夜間の避難を回避するため、可能性が高くなっても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表

③ 数日先までの「警報級の現象になる可能性」の提供

- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明日	明後日	(金)	(土)	(日)
警報級の可能性	雨	中	高	高	—
	風	中	高	高	中

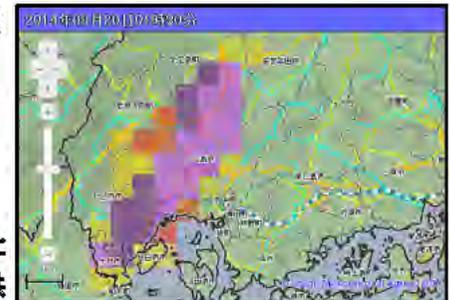
④ 実況情報の提供の迅速化

- 迅速な安全確保行動を促進する観点から、記録的短時間大雨情報をこれまでより最大で30分早く発表

⑤ メッシュ情報の充実・利活用促進

- メッシュ情報の充実
- さまざまな地理情報との重ね合わせ
- メッシュ情報の利活用促進

道路や河川、鉄道などの地理情報と重ね合わせてメッシュ情報を提供



継続的・中長期的に取り組むべき事項

- 市町村等への支援や住民への普及啓発活動の継続
- 分かりやすい防災気象情報となるよう不断の見直し

③ 国土交通省ハザードマップポータルサイトの紹介

秋田河川国道事務所
平成28年2月29日

災害時の避難や、事前の防災対策に役立つ情報を公開しています。

大雨が降ったとき

- ・どこが浸水するおそれがあるか？
- ・どこで土砂災害の危険があるのか？
- ・どこの道路が通行止めになりやすいのか？

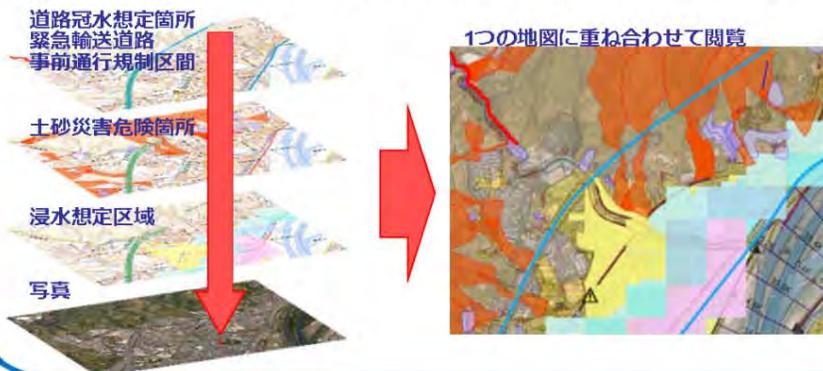


地震のとき

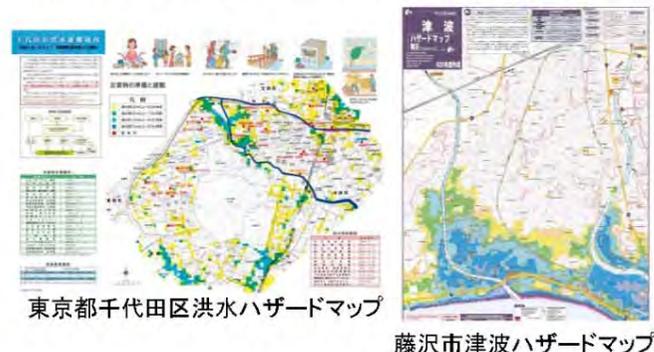
- ・どこが揺れやすいのか？
- ・活断層はどこにあるのか？
- ・大規模な盛土造成地はどこなのか？



様々な防災に役立つ情報を、
全国どこでも1つの地図上で閲覧できます。



全国の市町村のハザードマップを
閲覧することもできます。



このような防災に関する様々な情報が分かるので、避難計画・防災対策に役立ちます。



大雨が降ったときに危険な場所を知る

「浸水のおそれがある場所」「土砂災害の危険がある場所」「通行止めになるおそれがある道路」が1つの地図上で、分かります。

重ねて見たい防災情報

防災に関する情報 ファイル操作 地名等検索

- 各種ハザード情報
 - 浸水想定区域
 - 洪水ハザードマップ
 - 土砂災害危険箇所
 - 土石流危険渓流
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 地すべり危険箇所
 - 雪崩危険箇所
- 災害時に役立つ情報
 - 道路冠水想定箇所

事前通行規制区間のイメージ

大雨の際に通行できないおそれがある道路

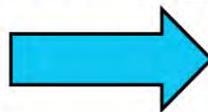
土砂災害(土石流)により道路が寸断される可能性

道路冠水想定箇所のイメージ

冠水するおそれがある道路(大雨の際に通行できないおそれ)

浸水のイメージ

洪水時に浸水のおそれがある範囲



避難ルートの検討などに役立てることができます。

大雨が降ったときに危険な場所を知る(操作方法)

① 浸水のおそれがある場所

● 浸水想定区域にチェックをします。

【参考】浸水深のイメージ

想定される浸水深 5.0m以上

② 土砂災害の危険がある場所

● 土砂災害危険箇所をチェックをします。

【参考】土砂災害のイメージ

③ 通行止めになるおそれがある道路

● 道路冠水想定箇所、事前通行規制区間にチェックをします。

④ 浸水のおそれがある場所、土砂災害の危険がある場所、通行止めになるおそれがある道路を重ね合わせると、避難の際に避けるべき道路が分かる

● 浸水想定区域、土砂災害危険箇所に加えて、道路冠水想定箇所、事前通行規制区間にチェックをします。

【参考】道路冠水想定箇所

アンダーパスなど、大雨の際に冠水し、車両が水没するなどの重大な事故が起きる可能性がある箇所

【参考】事前通行規制区間

大雨の時の通行止区間
これより 0.6km
(連続雨量250mmで通行止)
国土交通省

大雨などで土砂崩れや落石のおそれのある箇所について、規制の基準を定めて、災害が発生する前に通行止めなどの規制を実施する区間

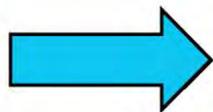
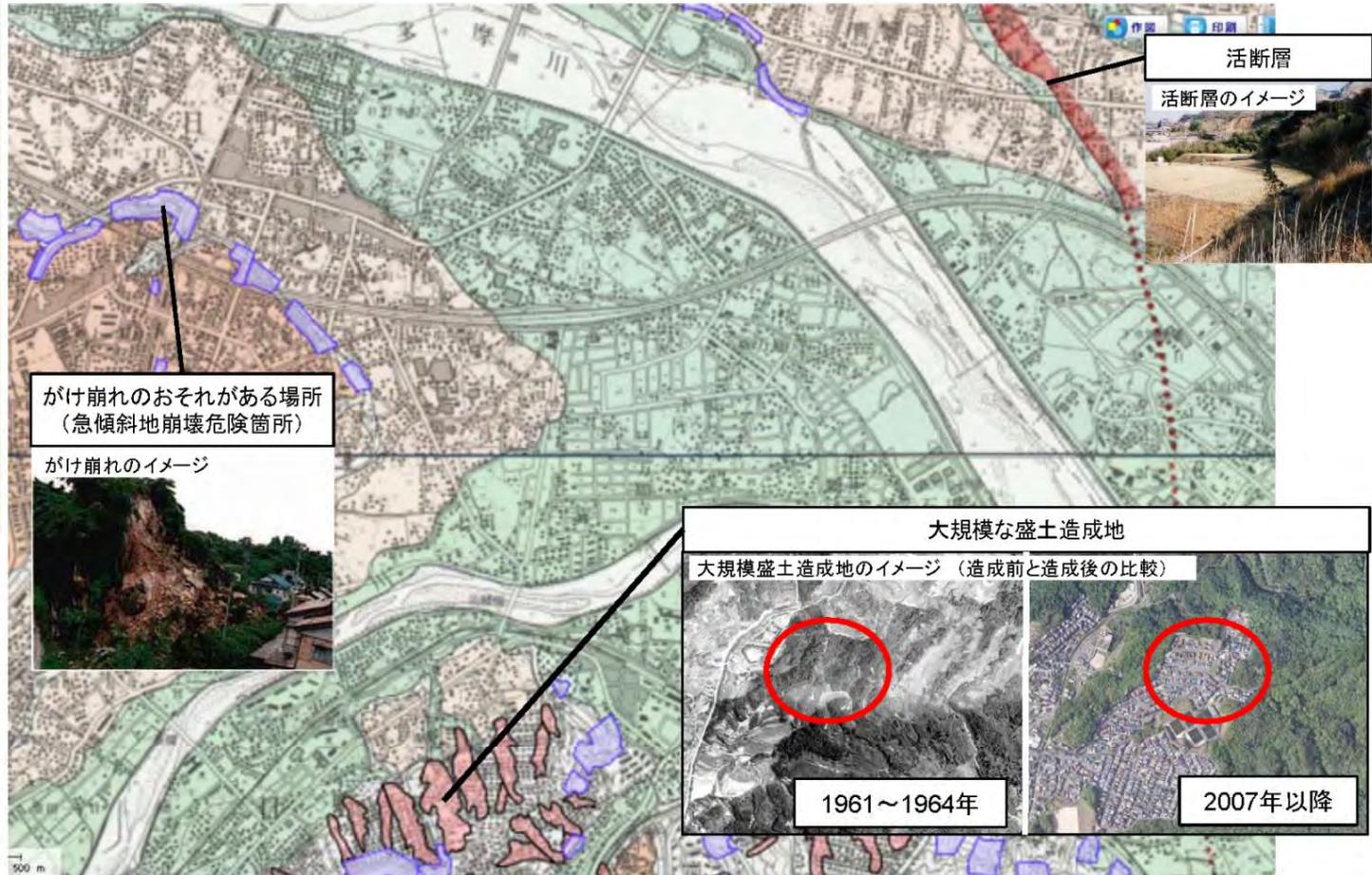
強い地震が起きた時に被害のおそれのある場所を知る

「活断層の位置」「がけ崩れのおそれがある場所」「大規模な盛土造成地」が1つの地図上で、分かります。

重ねて見たい防災情報

防災に関する情報 ファイル操作 地名等検索

- 各種ハザード情報
 - 浸水想定区域
 - 洪水ハザードマップ
 - 土砂災害危険箇所
 - 土石流危険渓流
 - 急傾斜地崩壊危険箇所
 - 地すべり危険箇所
 - 雪崩危険箇所
- 災害時に役立つ情報
 - 道路冠水想定箇所
 - 事前通行規制区間
 - 緊急輸送路
- 防災に役立つ地理情報
 - 写真
 - 土地条件図
 - 沿岸海域土地条件図
 - 治水地形分類図
 - 明治前期の低湿地
 - 都市圏活断層図
 - 火山基本図
 - 火山土地条件図
 - 色別標高図
 - 大規模盛土造成地



耐震化の検討などに役立てることができます。

① 活断層の位置

●都市圏活断層図にチェックをします。



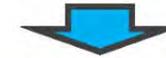
② かけ崩れのおそれがある場所

●急傾斜地崩壊危険箇所をチェックをします。



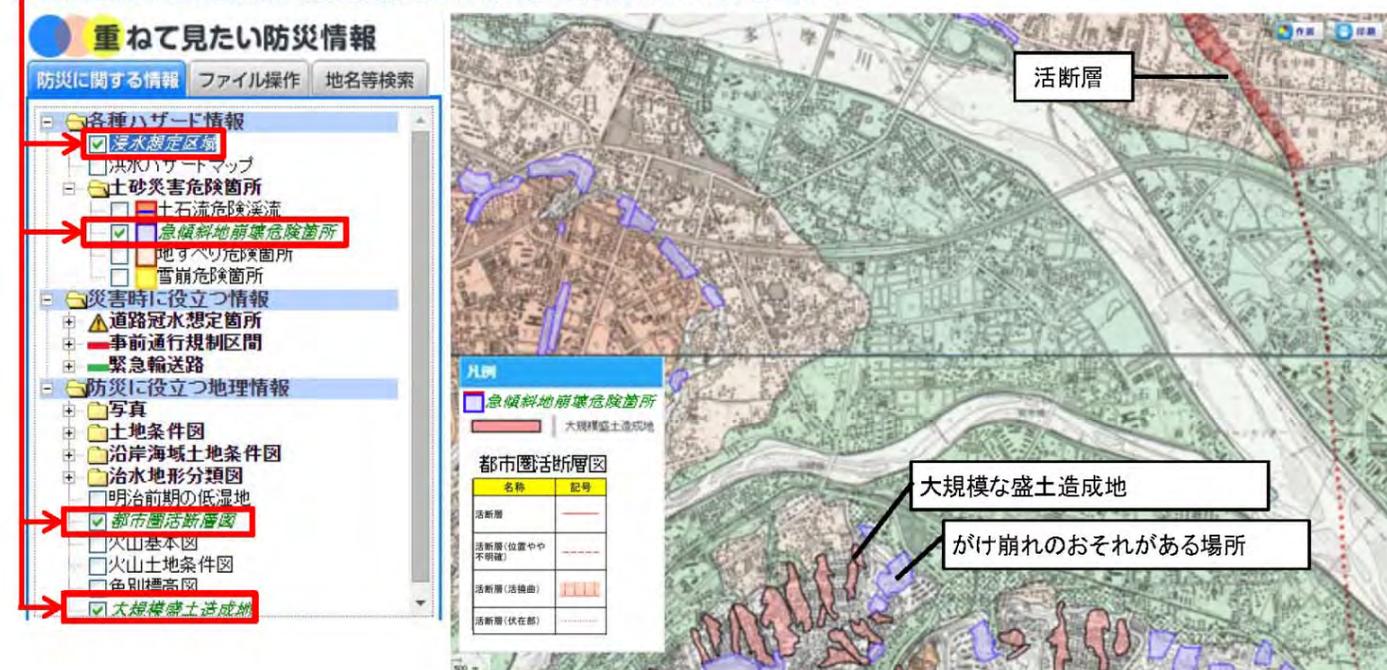
③ 大規模な盛土造成地

●大規模盛土造成地にチェックをします。



④ 活断層の位置、かけ崩れのおそれがある場所、人工的に盛った地盤の場所を重ね合わせて、地震に関する様々な災害危険性を把握できる

●都市圏活断層図、急傾斜地崩壊危険箇所、大規模盛土造成地にチェックをします。



自宅近くで起こりうる様々な災害の危険性を知る

自宅近くでどんな災害の危険性があるのか、1枚の地図上で知ることができます。

身の周りの防災に役立つ情報をまとめて閲覧

引用・利用について | ヘルプ | 国土交通省ホーム | ハザードマップポータルホーム

地図を共有 表示

重ねて見たい防災情報

防災に関する情報 ファイル操作 地名等検索

- 各種ハザード情報
 - 洪水ハザードマップ
 - 土砂災害危険箇所
- 災害時に役立つ情報
 - 道路冠水想定箇所
 - 事前通行規制区間
 - 緊急輸送路
- 防災に役立つ地理情報
 - 写真
 - 土地条件図
 - 沿岸海域土地条件図
 - 治水地形分類図
 - 初版(1976~1978年)
 - 更新版(2007~2012年)
 - 明治前期の低湿地
 - 都市圏活断層図
 - 火山基本図
 - 火山土地条件図
 - 色別標高図
 - 大規模盛土造成地

治水想定区域

透過率調節: 30

河川が浸した際に洪水が想定される区域に注意

凡例の表示

想定される浸水深: —

凡例

浸水想定区域	
	0.5m未満
	0.5~1.0m
	1.0~2.0m
	2.0~3.0m
	3.0~4.0m
	4.0~5.0m
	5.0m以上

治水地形分類

	山地・丘陵地		干拓地
	台地		高い盛土地
	自然堤防		崖
	旧川微高地		直轄堤防(計画断面)
	扇状地		直轄堤防(暫定断面)
	天井川の部分		上記以外の堤防
	砂丘		旧堤防(跡地)
	旧河道・旧落堤		護岸
	落堀		地盤高線
	記号平野		直轄管理区境界
	湿地		5距離標
	旧湿地		水位標

昔、川や沼であった場所を埋め立てた土地(旧河道等)東日本大震災時には、液状化被害が集中しました。

1947年空中写真

液状化被害の状況

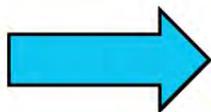
栄橋△
布川△

1.0
5.0
7.5
5.4

木37下M

国土地理院

紫色の部分は洪水により想定される浸水深が5.0m以上の地域



総合的な災害危険性の確認などに役立てることができます。

ハザードマップポータルサイトで閲覧できる情報

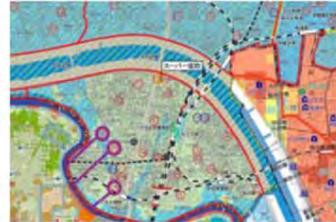
各種ハザード情報

浸水想定区域



河川氾濫により、浸水が想定される区域と水深

洪水ハザードマップ



浸水想定区域図に避難所等の情報を付け加えた図

土砂災害危険箇所



土砂災害のおそれのある箇所

災害時に役立つ情報

道路冠水想定箇所



大雨により冠水するおそれがある箇所(アンダーパス等)

事前通行規制区間



災害が発生する前に「通行止」などの規制を実施する区間

緊急輸送路



緊急車両の通行を確保すべき重要な道路

防災に役立つ地理情報

写真



1945年以降の空中写真等

土地条件図



山地、台地、低地、人工地形等の地形分類を表示した地図

沿岸海域土地条件図



海底の浸食や堆積の状況、傾斜、水深等を表示した地図

治水地形分類図



詳細な地形分類及び河川工作物等を表示した地図

明治前期の低湿地



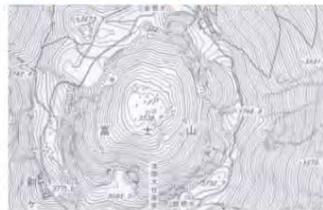
明治期に作成された地図から、当時の低湿地分布を抽出した地図

都市圏活断層図



活断層と地形分類を表示した地図

火山基本図



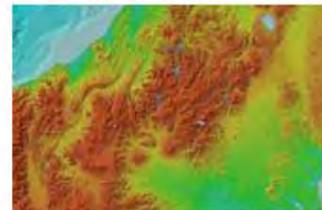
火山周辺の精密な地形を表示した地図

火山土地条件図



火山活動で形成された地形や噴出物の分布等を表示した地図

色別標高図



標高の変化を陰影と段彩を用いて視覚的に表現した地図

大規模盛土造成地



谷や斜面に盛土した大規模な造成宅地を表示した地図

ハザードマップポータルサイトの主な機能①

個々の防災情報を重ね合わせた閲覧が可能



河川が氾濫したときに想定される浸水域や浸水深を表示した地図



アンダーパスなど、大雨の際に冠水し、車両が水没するなどの重大な事故が起きる可能性がある箇所



大雨などで土砂崩れや落石のおそれのある箇所について、規制の基準を定めて、災害が発生する前に通行止めなどの規制を実施する区間

3つの情報を重ね合わせ

凡例

浸水想定区域

0.5m未満
0.5~1.0m
1.0~2.0m
2.0~3.0m
3.0~4.0m
4.0~5.0m
5.0m以上

▲道路冠水想定区域

—事前通行規制区間

ハザードマップポータルサイトの主な機能②

複数の市町村・流域（河川）にまたがって、シームレスな閲覧が可能

隅田川及び新河岸川流域浸水予想区域図

荒川水系荒川及び入間川流域 浸水想定区域図

利根川水系江戸川 浸水想定区域図

隅田川等の浸水想定区域図

荒川等の浸水想定区域図

江戸川の浸水想定区域図

シームレス表示

江戸川

荒川

隅田川

凡例
浸水想定区域
0.5m未満
0.5~1.0m
1.0~2.0m
2.0~3.0m
3.0~4.0m
4.0~5.0m
5.0m以上

ハザードマップポータルサイトの主な機能③

その他の主な機能（想定される浸水深の表示、透過率の調整）

身の周りの防災に役立つ情報をまとめて閲覧

全国 > 大阪府 > 大阪市 北区 > 南森町二丁目

中心緯度経度: 34.698558, 135.510711

重ねて見たい防災情報

防災に関する情報 ファイル操作 地名等検索

各種ハザード情報

- 浸水ハザードマップ
- 土砂災害危険箇所
- 災害時に役立つ情報
- 道路冠水想定箇所
 - 北海道
 - 東北
 - 中部
 - 近畿
 - 滋賀県
 - 京都府
 - 大阪府
 - 兵庫県
 - 奈良県
 - 和歌山県
- 中国
- 四国
- 九州
- 事前通行規制区間
- 緊急輸送路
- 防災に役立つ地理情報
- 写真

浸水想定区域

透過率調節: 25

河川が氾濫した際に洪水が想定される区域と水深
注意点

凡例の表示

想定される浸水深: 3.0~4.0m

地図上でクリックした地点の想定される浸水深が表示されます。

透過率調節25%の場合

選択した情報(背景が青色)について
スライドにより透過率を任意に調整可能

チェックボックスに
チェックした情報の
凡例を表示します。

凡例	
浸水想定区域	
0.5m未満	黄色
0.5~1.0m	黄緑
1.0~2.0m	緑
2.0~3.0m	青緑
3.0~4.0m	青色
4.0~5.0m	水色
5.0m以上	淡青色
道路冠水想定区域	黄色三角

透過率調節50%の場合

浸水想定区域

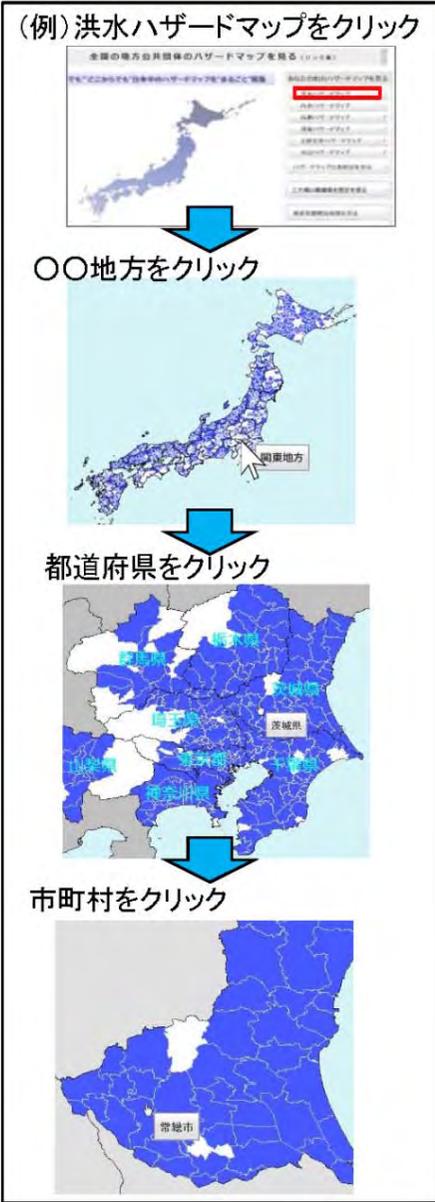
透過率調節: 50

河川が氾濫した際に洪水が想定される区域と水深
注意点

国土地理院

様々な種類の全国の市町村のハザードマップの閲覧が可能

市町村のハザードマップを閲覧できます



洪水ハザードマップ



東京都大田区洪水ハザードマップ

内水ハザードマップ



東京都港区浸水ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ



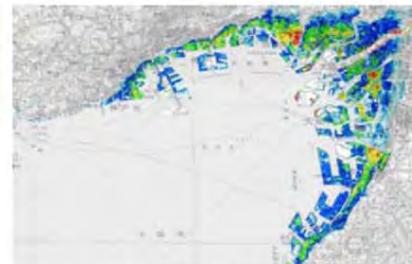
栃木県宇都宮市土砂災害ハザードマップ

高潮ハザードマップ



山口県下関市高潮ハザードマップ

三大湾の高潮浸水想定



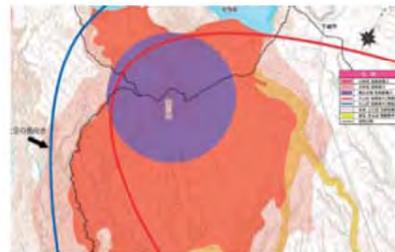
大阪湾高潮浸水区域図

津波ハザードマップ



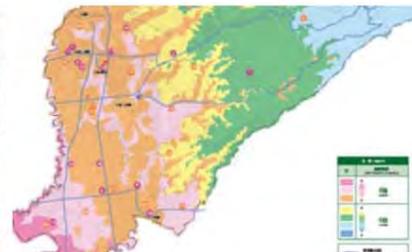
高知県高知市津波ハザードマップ

火山ハザードマップ



北海道白老町樽前山火山防災マップ

震度被害（揺れやすさ）マップ



静岡県三島市揺れやすさ・防災マップ

地盤被害（液状化）マップ



愛知県西尾市液状化危険度マップ

住民

- ・災害危険性の確認
- ・避難先、避難ルート、避難方法の検討
- ・浸水対策の検討
(土のうの備蓄等)
- ・地震対策の検討
(耐震化、家具転倒防止等)
- ・水・食料等の備蓄の検討



行政

- ・防災計画、避難計画等の策定
- ・公共施設の立地検討、安全度評価
(耐震化、地盤の嵩上げ等の検討)



- ・まちづくりの検討



- ・住民、要配慮者施設等への注意喚起



- ・周辺市町村の災害の危険性等の確認

ハザードマップポータルサイトをご活用ください。

ハザードマップ

検索